

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2024 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2459
研究開発課題名	短波海洋レーダシステムによる広域・高密度な波浪観測のための深層学習モデルの開発と実装
研究代表者	愛媛大学 大学院理工学研究科 准教授 片岡 智哉
研究開発成果の概要	陸上設置の短波海洋レーダシステム（HFRS）は、広域・高密度に波浪を計測できる独創性を有するが、ノイズによるデータ品質の低下とデータ解析の煩雑さがボトルネックとなっているため、深層学習モデルを用いた観測データのノイズ軽減と波浪計測のための先進的な解析技術を活用して、HFRS 波浪観測精度を向上した。

総合評価

省庁ニーズに合致しており、ソリッドな提案で具体的な技術開発を進め、事業化・ビジネスモデルの検討も深耕している。技術移転先との連携も構築済みであり、技術移転先のビジネスにアドオンするため、早期の実装、社会展開が期待され、有用性も高い。技術面では実用化にあたっての方式の深耕が必要であり、未達や不足部分の補完を進めることを期待する。ビジネス面では、技術移転先の事業の方向性を明確にして、事業化を検討することを期待する。

以上